

予め全てが決められていると信じる
世界観が利他的行動に及ぼす影響

慶應義塾大学 経済学部三年 大垣昌夫研究会

井上直也, 岡井駿, 宮崎涼華, 村永康平

目次

1. 要約 3
2. 序文 3
3. 研究方法 3~4
4. 研究結果 4~6
5. 考察 6~7
6. 結論 7
7. 付録 7~8
8. 参考文献 8

1. 要約

本稿では「予め全てが決められていると信じる世界観」が利他的行動に及ぼす影響についての研究を行った。もし天国に行けると分かると、「天国にふさわしい人間になるように良い行いをする」人は世界観が強いほど、利他的行動指数が高くなり、「どうせ天国に行けるのだから自分のしたい事をたくさんする」人は世界観が強いほど、利他的行動指数が低くなる、したがって、世界観指数が高い場合、利他的行動が二極化すると仮説を立てた。アンケートで得られた回答を回帰分析した結果、予期せぬことに、「天国に行けると分かると、どうせ天国に行けるのだからやりたいように自分勝手な行動をする」人の中で、「予め全てが決められていると信じる世界観」が強い人ほど、親友より知らない日本人に、利他的行動をとるという意外な結果が得られた。「どうせ天国に行けるのだから自分のしたい事をたくさんする」人、つまり、自分勝手な人であっても、ある目的があるのであれば、例え、自分本位な動機であっても、利他的行動をとることがわかった。

2. 序文

我々の日常生活で気が付かないうちに行っている行動の多くが、その人の世界観に裏付けられていることがある。本稿では、世界観とは、「ひとつの人々の集団が生活を秩序付けるために用いている、現実の性質についての、認識、感情、判断 に関する、基礎的な仮定と枠組み」（大垣昌夫・田中沙織「行動経済学」 p194 ページ）と定義する。例えば、自分の人生の物事が予め決められていると信じている世界観を持っている人と、この世界観を持っていない人とは行動に相違があるだろう。もし人生の物事が予め決められていると信じない人が困っている人に遭遇したら、それはただの偶然であり、自分で助ける必要はないと考えるかもしれない。一方、人生の物事が予め決められていると強く信じる人が困っている人に遭遇したら、その人が現れたことは偶然ではなく、予め決められており、そこに理由があると考え、その理由は自分がその人を手助けするためだと考え、助けるかもしれない。しかし、ただ単に、「予め全てが決められていると信じる世界観」が強いからといって人助けをするとは限らない。同様に、この世界観を強く信じる人が、困っている人と遭遇したら、その人が困ることになるのは予め決められていた事であって、その事実は変えられないと考えるため、あえて助けないかもしれない。また、どうせ自分の人生は決まっているのだから、困っている人を見て助けようが助けまいが自分の人生は変わらないので、助けないという考えに至るかもしれない。

そこで私たちは、「予め全てが決められていると信じる世界観」が強いと、積極的に利他的行動をする人と、どうせ全て決まっているのだからと自分勝手に好きなことをして生きる人とで二極化していくのではと考えた。ここで、「予め全てが決められていると信じる世界観」が強かったらと仮定し、次の3つの属性に分けて考えた。良い運命にふさわしいように、日々の行いを意識的に良くしようとする人、どうせ運命は決まっているのだから自分の好きなことを自由にやる人、運命が決まっていようが何も行動に影響を及ぼさない人である。

3. 研究方法

Gogle form でアンケートを作成し, Twitter, LINE 等の SNS 上でアンケートを拡散した. 集計期間は7月29日から8月29日の1か月であり, 175名の有効回答を得た. Twitter は個々のユーザーが「ツイート」と呼称される短文を投稿し, 閲覧できるコミュニケーション・サービスである. リツイートと呼ばれるユーザーの投稿を再投稿することを利用した. LINE はインストールされている携帯電話同士で通話やチャットが行えるアプリケーションでメッセージに反応したかどうか送信人側が把握することができる. そのため状況に応じてアンケートのリマインドが効率的に可能である.

アンケートの内容について, “付録” に実際に分析に使ったアンケートを載せているので参照していただきたい. 「予め全てが決められていると信じる世界観」を測る質問として, 質問 1. 利他的行動の度合いを測るために, 質問 2~4 を回答していただいた. 親友の場合, 知らない日本人の場合, 知らない外国人の場合と三つに分けたのは, それぞれの場合で利他的行動の度合いが変わってくるのではと考えたからである. ここで, お金を他人に渡すことで利他的行動を測ろうとすると, 娯楽費や所得等の経済的要因が入ってきてしまうので, より純粋に利他的行動の度合いを求めるために, 質問 5 を用意した. 回答人の娯楽費で質問 2 2~4 の値を割ることで, 利他的行動度合いを相対化し, 経済的要因による差を抑えた. 娯楽費で割る時は, もし娯楽費が 2~3 万円であれば, 中間点を取り 2.5 万円として計算した. 質問 6 では, “序文” で人を三つの属性に分けられると説明したことについて, 属性をダミー変数として置き, 質問した. ここで, 「予め全てが決められていると信じる世界観」が弱い人も, もしこの世界観が強いと仮定したらという前提のもと, 三つの属性に分けた. 1 を選択した人は, 良い運命にふさわしいように日々の行いを意識的に良くしようとする人であり, 2 を選択した人は, どうせ運命は決まっているのだから自分の好きなことを自由にやる人であり, 3 を選択した人は, 運命が決まっていようが何も行動に影響を及ぼさない人である.

次に, 3つのダミー変数を選んだ人たちの世界観と利他的行動の相関を分析するため, 世界観を数値化し, 説明変数とした. 利他的行動の対象が, 親友, 知らない日本人, 知らない外国人なので, それぞれに対して渡したお金の額を娯楽費で割った値を被説明変数と置き, 統計ソフト Stata を用いて回帰分析を行った. また, 同様に, 親友, 知らない日本人, 知らない外国人に対して行った利他的行動の差を測るため, 親友と知らない日本人, 親友と知らない外国人, 知らない日本人と知らない外国人, に渡したお金の差額を求め, 娯楽費で割った値と, 説明変数で回帰分析を行った. その結果をもとに, 3つのダミー変数を選んだ人たちが親友と知らない日本人に渡す額について, 記述統計量を測った. 3つのダミー変数それぞれにおいて, 親友と日本人のどちらに多くお金を渡したのか, または平等に渡したのか割合を調べた.

4. 研究結果

回帰分析の結果, 「どうせ天国に行けるんだからやりたいように自分勝手な行動をする人」の中で, 「予め全てが決められていると信じる世界観」が強い人ほど, 親友より知らない日本

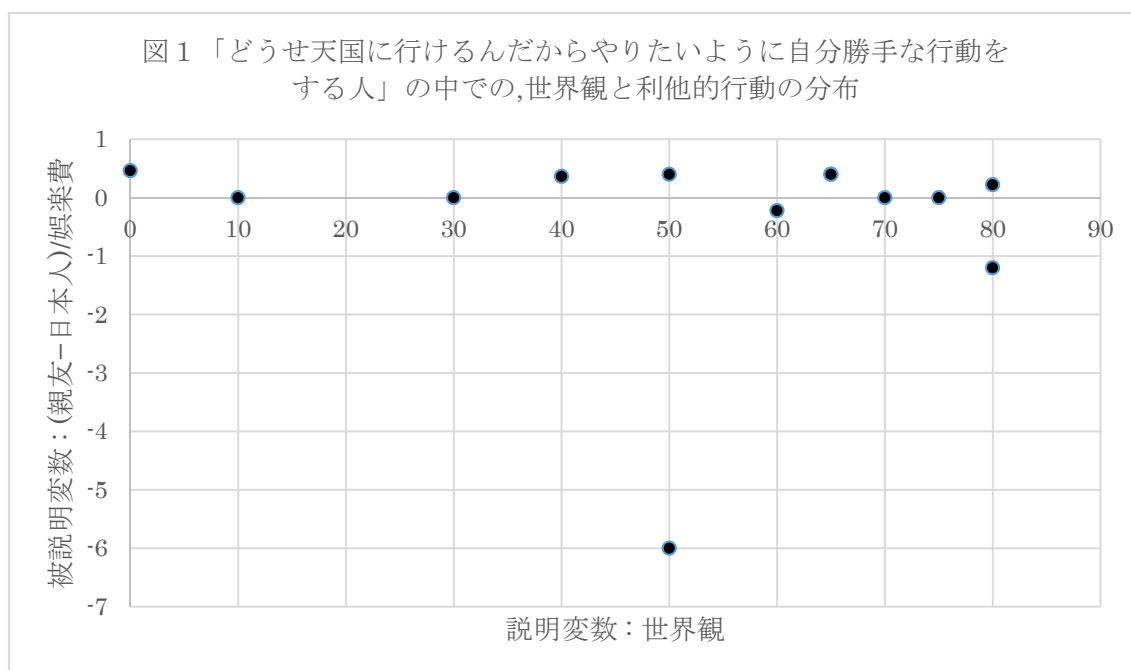
人に、利他的な行動をとるということを示す有意な結果が得られたので表 1 に記す。

表 1 世界観と利他的行動の相関関係

ダミー変数属性	説明変数	被説明変数	係数	P 値
どうせ天国に行けるんだからやりたいように自分勝手な行動をする	予め全てが決められていると信じる世界観	親友に渡した額－ 知らない日本人に渡した額	-0.0222466	0.050*
		親友に渡した額－ 知らない外国人に渡した額	-0.0152359	0.187
		知らない日本人に渡した額－ 知らない外国人に渡した額	-0.0004402	0.842

表 1 より、被説明変数である、親友に渡した額から知らない日本人に渡した額を引いた値を娯楽費で割った値においてのみ、負の相関関係があるという有意な結果が得られた。つまり、説明変数である世界観の数値が高ければ高い程、親友より知らない日本人に渡す額の程度が高くなるということがわかった。

以下の図 1 は、「どうせ天国に行けるんだからやりたいように自分勝手な行動をする人」の中での、説明変数と被説明変数の分布を表したものである。



また、「親友より日本人に多くお金を渡す」ことにおいて、記述統計量を用いて、他の 2 つのダミー変数と比較したものが表 2 である。

表2 親友と日本人に渡した差額についての記述統計量

3つのダミー変数の記述統計量		①ダミー 天国にふさわしい 人間になるように 良い行いをする	②ダミー どうせ天国に行けるん だからやりたいように 自分勝手な行動をする	③ダミー 今までの生活 を保つ
全体数		21 個	13 個	141 個
親友と日本人の どちらにお金を 多く渡したか	親友>日本人	42%	46%	57%
	日本人>親友	5%	22%	9%
	親友=日本人	52%	52%	36%

表2の中で、日本人>親友の蘭を見ると、①と③ダミーは、それぞれ5%と9%と低いのに対し、②ダミーは22%もの人が親友より日本人にお金を多く渡している。これらの結果から分かることは、「どうせ天国に行けるんだからやりたいように自分勝手な行動をする人」は、他のダミー変数属性①、③の人たちと比べて、親友より知らない日本人に、利他的な行動をとるということである。

5. 考察

まず、「どうせ天国に行けるのだから自分のしたい事をたくさんする」ダミー変数を選んだ人以外において、「予め全てが決められていると信じる」世界観が利他的行動に影響を与える有意な結果が得られなかった事について考える。元々の仮説としては「予め全てが決められていると信じる」のであれば、例えば 困っている人に遭遇したら、その人が現れたことは偶然ではなく、予め決められており、またその出来事に理由があると考え、その理由は自分がその人を手助けするためだと考え、行動すると思われたからだ。しかし、もう一方では、「予め全てが決められていると信じる」としても、困っている人を目撃したら、その人が困ることになるのは予め決められていた事であって、その事実は変えられないと考えるため、あえて放置する行動を取る事も考えられる。つまり、前人がダミー変数の「天国にふさわしい人間になるように良い行いをする」であり、後人が「どうせ天国に行けるのだから自分のしたい事をたくさんする」である。また、「天国にふさわしい人間になるように良い行いをする」人は世界観が強いほど、利他的行動指数が高くなり、「どうせ天国に行けるのだから自分のしたい事をたくさんする」人は世界観が強いほど、利他的行動指数が低くなる。したがって、世界観指数が高い場合、利他的行動において、両極端になると考えていた。また、「今までの生活を保つ」ダミー変数の場合は、平均的な経済行動指数が見られると考えていた。

しかし研究結果によると、「天国にふさわしい人間になるように良い行いをする」人と「今までの生活を保つ」人の場合は、世界観が経済行動に影響を与える影響の有意性が見られなかった。これは、質問2～4番で同じ金額を渡すと答えた人がいたが、例えば「平等を重視する」世界観などが働いていたからだと考えられる。このように、利他的行動を他にも規制する要

因が多く存在すると考えられ、「天国にふさわしい人間になるように良い行いをする」場合、利他的行動に影響を与えるかどうかは、今回の研究では有意な結果は得られなかった..

しかし、世界観と「どうせ天国に行けるのだから自分のしたいことをたくさんする」というダミー変数と利他的行動の間に有意な結果が得られた.このような結果が得られた理由は、「どうせ天国に行けるのだから自分のしたい事をたくさんする」人は、「予め全てが決められていると信じる」世界観や、元々「天国」や「なんらか」の存在を信じているため、自分が「天国」に行きたいがゆえに、利他的行動や天国に行けるような行動をとっている.しかし、これはあくまでも、例えば「天国に行く」ためであって、利他的行動自体が目的となっておらず、手段でしかない.そのため、「天国に行く」という目的が約束された時、手段である利他的行動が必要ではなくなる.そのため、アンケートで「どうせ天国に行けるのだから自分のしたい事をたくさんする」という答えを残すのであろう.また、なぜ身近の知り合いよりも、見知らぬ日本人に多く金額を支払ったかという点、利他的行動は「天国に行く」ための手段であるため、より「天国」にいける行動を取ろうとするからである.つまり、自分に近い親友よりも、無関係な日本人のほうが利他的行動をとる方が、評価されやすいと考え、日本人にお金を渡す人が多いと考えられる.しかし、そこでなぜ一番遠い外国人に利他的行動をとらないかという点、そこでは日本人特有の「内外文化」が関係してくるのではないかと考えられる.

6. 結論

今回、「予め全てが決められていると信じる世界観」と「どうせ天国に行けるのだから自分のしたいことをたくさんする」というダミー変数と利他的行動の間に有意な結果が得られたことにより、「どうせ天国に行けるのだから自分のしたい事をたくさんする」人、つまり、自分勝手な人たちが利他的行動をとる動機の一部を理解できた.自分勝手な人であっても、ある目的があるのであれば、例え、自分本位な動機であっても、利他的行動をとることがわかった. 今回の研究をしていく中で、利他的行動には、他にも平等を重視する世界観や日本人特有の内外文化の世界観等が影響しているのではないかと考えた.これらの世界観と利他的行動についても研究することで、利他的行動を起こす背景を深く知って行けるだろう.

7. 付録

質問 1. あなたは日常生活の中で起こる出来事があらかじめ決まっていたと信じますか？

0~100%から数字のみ記入してください.

質問 2. あなたは 10 万円渡されました.あなたはその 10 万円のうち自分の取り分と別室にいる A の取り分を自由に決められます.あなたなら A にいくら渡しますか？0~10 万円の範囲内で自由にお答えください.この時、A をあなたの【親友】と仮定します.なお、A の所得水準はあなたと同じくらいで、A にはあなたが取り分を決めたことは伝わりません.円は入力せず、数字だけの入力で構いません.

質問 3. 上記の質問と同様の状況だとして、A を【知らない日本人】と仮定します.0~10 万円

の範囲内でお答えください.

質問 4. 上記の質問と同様の状況だとして,A を【知らない外国人】と仮定します.0~10 万円の範囲内でお答えください.

質問 5. あなたが 1 か月間に娯楽に使うお金の合計の平均を教えてください.

- ・ 1 万円以下
- ・ 1~2 万円
- ・ 2~3 万円
- ・ 3~4 万円
- ・ 4~5 万円
- ・ 5~6 万円
- ・ 6~7 万円
- ・ 7~8 万円
- ・ 8~9 万円
- ・ 10~12 万円
- ・ 12~14 万円
- ・ 14~16 万円
- ・ 16~20 万円
- ・ 20~25 万円
- ・ 25~30 万円
- ・ 30 万円以上

質問 6. 天使が目の前に現れて,あなたは死んだ後に天国に行けると言われました.それを信じたあなたはこれからの人生で

- ・ 天国にふさわしい人間になるように良い行いをする
- ・ どうせ天国に行けるんだからやりたいように自分勝手な行動をする
- ・ 今までの生活を保つ

8. 参考文献

大垣昌夫・田中沙織, 2014. 『行動経済学 伝統的経済学との融合による新しい経済学を目指して』. 有斐閣